

NPO法人 ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会

所蔵資料の概要

202012.12 オンライン・シンポジウム

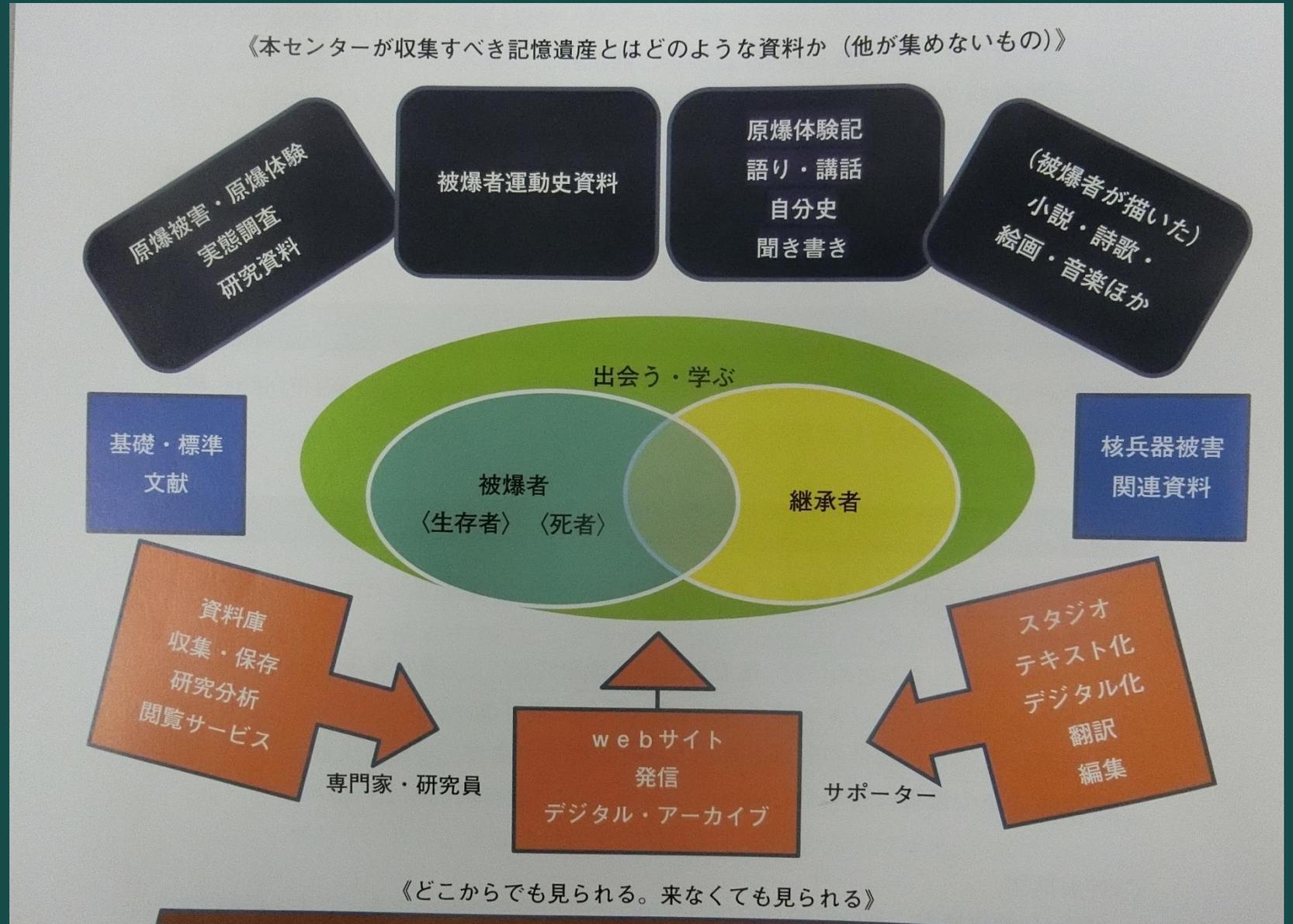
被爆者運動の足跡に向き合う



事務局：栗原 淑江（資料庫担当）

1. 継承する会の資料収集

継承センターは、被爆者たちによる原爆とのたたかい（運動）を人類のあゆみ・歴史に刻むアーカイブスである。原爆が人間にもたらした「死」と「生」に関する証言を散逸させず、形ある「記憶遺産」として、後世にあまねく伝え「継承」し、「核兵器も戦争もない世界」をきづく「平和の砦」になる。（「基本構想」）



2. 所蔵資料の2本柱

1. 被爆者運動史料(不定形資料)

2013.8～ 愛宕事務所で整理作業開始
もんじょ箱 191箱 6,712点

2. 原爆・被爆者問題に関する書籍・冊子類

2015.8～ 南浦和資料庫で整理作業開始

・ 愛宕事務所



・ 南浦和資料庫



3. 被爆者運動史料の概要(1)

【寄贈者別】

2020.12現在

寄贈者	点数	内訳
日本被団協	2,541	
(社)中央相談所	135	
各県被団協	1,213	愛知:535、兵庫:612、和歌山:66
日本被団協関係者 (個人)	2,328	藤平:247、小西:396、肥田:192、栗原:1,493
各県被団協関係者 (個人)	413	群馬(須藤)、東京(田川、横川、永坂)、平塚市(古谷)、静岡(杉山)、三重(嶋岡)、兵庫(副島)
その他(個人)	82	被爆者:40、その他:42
計	6,712	

※ 他に、写真、音声・画像記録 多数あり

4. 被爆者運動史料の概要(2) 【主な分野別】

No.	分野	点数
1	発行・連絡文書、機関紙	694
2	諸会議(総会・代表者会議等)	309
3	中央行動(要請書、賛同署名等)	189
4	調査・研究、シンポジウム等	1,411
5	核兵器廃絶・国際活動、核政策	500
6	要求内容、政府・国会の対応	259
7	中央相談所、医療・相談	255

No.	分野	点数
8	裁判(原爆裁判、認定訴訟、在外)	105
9	各地の運動、自治体施策	1,520
10	実相普及、手記・体験記、肖像画等	903
11	運動のあゆみ、資料センター	100
12	関係団体資料	226
13	報道、その他資料	241
	計	6,712

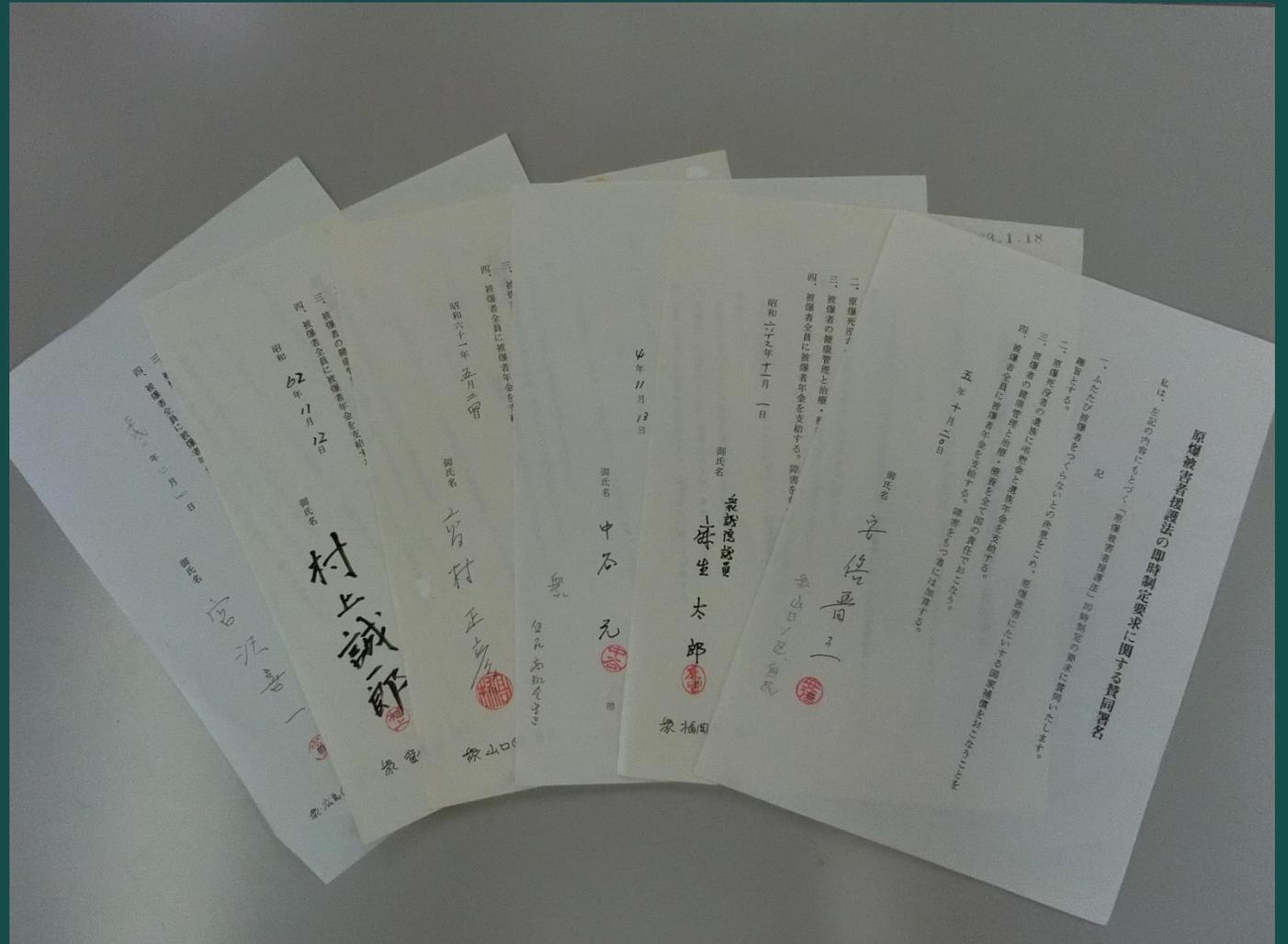
5. 被爆者運動史料の概要(3) こんな資料も ① 中央行動

衆参国会議員
援護法賛同署名 会派別賛同者数

1994年11月10日現在

衆議院			参議院		
会派	賛同数	現在数	会派	賛同数	現在数
自由民主党	109	201	自民党	31	95
日本社会党・護国民主連合	72	72	社会党	67	68
新党さきがけ	9	21	新緑風会	25	39
改革	137	187	新生党	4	14
新生党	28	62	民主改革連合	10	10
公明党	52	52	民社党	7	8
日本新党	21	29	日本新党	3	4
民社党	18	19	スポーツ平和党	1	2
自由党	7	7	無所属	0	1
高志会	5	6	公明党	24	24
新党みらい	1	5	共産党	11	11
その他	4	7	二院クラブ	5	5
日本共産党	15	15	護憲リベラル	5	5
民主新党クラブ	2	4	無所属	3	5
無所属	7	9			
総計	351	509 (欠員 2)	総計	171	252 (欠員 0)
現員比	69.0%		現員比	67.9%	
備考	現員の2/3=340 +11		備考	現員の2/3=168 +3	

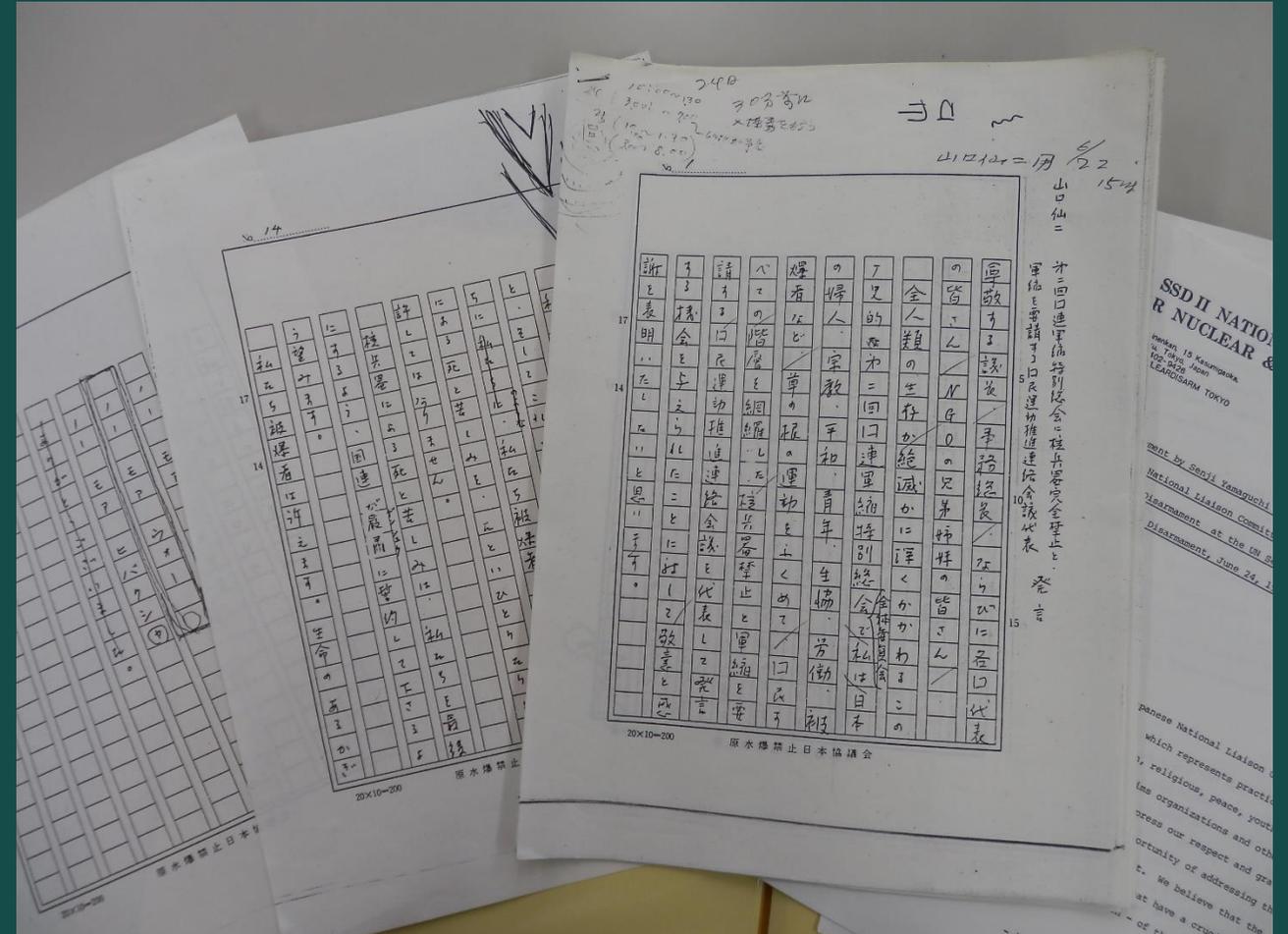
*『改革』の賛同者137名中1名(大石正光・宮城2区)は所属党派が不明のため、(内には加えていない。したがって、(内の各党派の賛同数を加算すると136名で、1名たりない。



5. 被爆者運動史料の概要(3) こんな資料も ② 国際活動



(上) 国際活動資料を納めたもんじょ箱

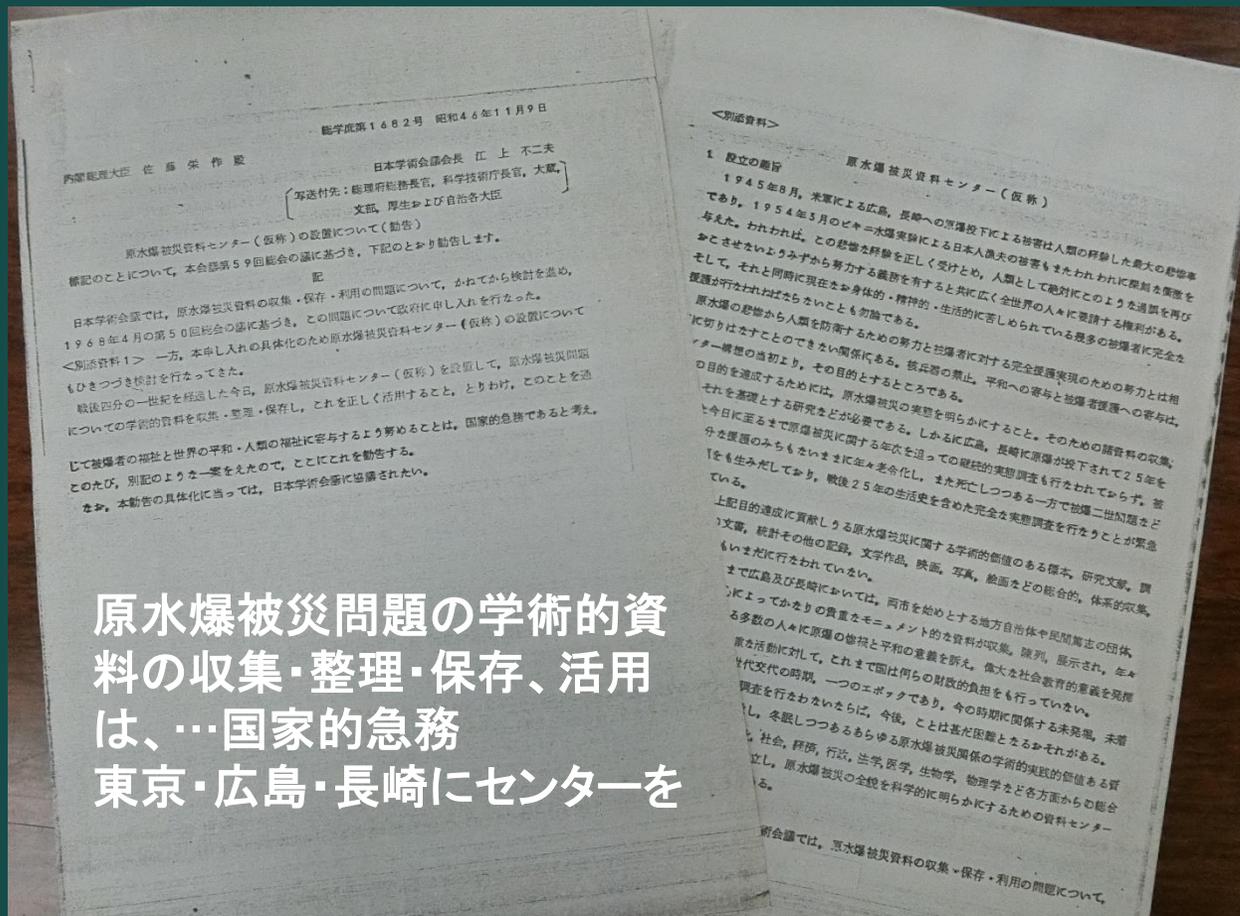


(右) SSD II で演説した山口仙二の原稿

5. 被爆者運動史料の概要(3) こんな資料も ③ 資料センター

- 1965.3 原爆被災資料蒐集と出版の計画
- 1965.3 日本の作家・文化人へのおねがい
- 1965.4 知識人による協力委員会よびかけ
- 1971.11 学術会議、資料センター設置勧告

岩波書店編集長	作家	法政大助教授	東大教授	広島市長	作家	東大教授	学習院大講師	作家	中国新聞論説委員	作家	広島大教授	作家	作家	作家
吉野源三郎	堀田善衛	藤田省三	日高六郎	浜井信三	芹沢光治良	坂本義和	久野収	木下順二	金井利博	開高健	小川二郎	大江健三郎	井上光晴	阿部知二



原水爆被災問題の学術的資料の収集・整理・保存・活用は、…国家的急務
東京・広島・長崎にセンターを

6. 書籍・冊子類の概要(1)

No.	分野	文献数	冊数
1	手記・体験記(被爆者の会、個人、学校、他の団体)	1,277	2,432
2	調査・研究(被団協調査、各県実態調査、NGOシンポ報告)	954	1,564
3	核関連(原水禁運動、ビキニ被災・核実験被害、原発)	1,571	1,961
4	文学・芸術(文学・俳句・短歌・音楽・絵画・演劇等)	1,354	1,861
5	被爆者運動史(各県年史、国民法廷、国際活動等)	724	1,361
6	学習と継承	811	1,265
7	その他(他の戦争被害等)	整理中	

6. 書籍・冊子類の概要(2)

各県・地域の被爆者の会発行の体験記集

各県被団協独自の調査報告書



←(左から時計回り)
富山(2冊)、愛知、
沖縄、福岡、新潟、
埼玉、長野



すべて静岡の
調査報告書→

7. 資料の公開・活用に向けての課題

- 1) 各会発行の手記・体験記のWeb公開に向けて
 - ・ 電子化、各会の承諾書、最小限のマスキング
- 2) 資料保管・閲覧の場所の確保
- 3) 専門的人材とそれを支える財源の確保